マテリアリティと主な取り組み実績

マテリアリティ	主な重要課題	目標	2025年度・実績	判定	関連P
高付加価値商品の開発 確かな品質と技術をもってお客様目線のモノづくりに取り組み、環境配慮型商品をはじめとする、東リグループ社会的価値の拡大に向けた高付加価値商品を開発し、事業活動の持続性をさらに高めます。 	お客様満足度の向上	・環境配慮型商品（エコマーク認定）の拡充	・GA-3600 サスティブバック 従来の9柄62アイテムから10柄67アイテムに増強 ・ロイヤルシリーズ全点認定取得 ・NS遮熱ガーデントの認定取得	●	P.18, 33-34
		・SuMPO EPDの認定取得	・イークリンNW-EXで取得	●	P.34
		・お客様相談室による消費者ニーズの収集	・全方位顧客からの問い合わせ対応 年間問い合わせ件数：7,362件	–	P.13
	知的財産権の保護と活用	・知的財産評価委員会開催 ・出願、登録報奨の実施（9月・3月）	・実績報奨：特許7件	–	P.23-24
安心・安全な商品・サービスの提供 仕入先・取引先との信頼関係構築から、原材料調達、商品・サービスの製造・販売、アフターフォローにいたるすべてのバリューチェーンにおいて、確かな品質と高い透明性をもってお客様目線の安心・安全な事業活動に取り組みます。 	品質保証体制の充実	・床材及びカーペット製造工場5拠点における品質クレーム発生件数 2025年度・年間113件以下	・品質クレーム数：215件 ※件数ベースの品質クレーム発生率：0.009%	×	P.43-44
		・品質不正防止活動「QCコミュニケーション」の実施	・13部門、部署と対話を実施 品質不正リスクのチェックと共有	●	P.44
	サプライチェーンの強化	・カーペット用ナイロン糸の内製化推進 既存紡糸機（1～3号機）の安定稼働 紡糸機（4号機）の早期稼働	・1～3号機：フル稼働継続 ・4号機：設置完了（2026年1月）	●	P.17-18
	商品・サービスに関する適正な情報の提供・開示	・適正担保のための定期的な社内審議の実施	・技術データ審議会：3回/年 ・環境安全委員会：4回/年 ・品質管理委員会：12回/年	●	P.43
		・デジタル販促物の強化「Image Fit」の進化	・「Image Fit」に壁面合成と範囲修正機能を追加（2025年7月）	●	
持続的な地球環境保全への貢献 モノづくり企業の責任として、商品・サービスのライフサイクルにおける環境負荷低減に取り組みます。 	産業廃棄物の削減・省資源/リサイクルの推進	・2027年度リサイクル率88.5%以上 ※2030年度リサイクル率90.0%以上	・リサイクル率：88.5% ※2027年度目標を前倒しで達成	●	P.33-34
		・2027年度産業廃棄物排出量 2019年度比58%以上削減 ※2030年度産業廃棄物排出量60%以上削減	・産業廃棄物排出量：57.3%削減	×	P.33-34
		・タイルカーペット 循環リサイクルの推進 再資源化処理量：4,800t以上	・再資源化処理量：約3,660t	×	P.33-34, 17
	温室効果ガス排出量削減・省エネルギーの推進	・2030年度まで CO_2 排出量を2020年度比で30%以上削減 ※スコープ1＋2	・2025年度 CO_2 排出量：47.0%削減 （スコープ1＋2・2020年度比） ※再生エネルギーへの切り替え等で中期目標達成	●	P.34
		・CDP「Bスコア」の維持	・2025年度：Bスコア獲得	●	P.32
活力あふれる職場環境づくり 従業員のキャリア形成支援をはじめ、企業と社会の持続的な発展に貢献する人材を育成し、従業員全員が心身ともに健康な状態でその能力を最大限に発揮できる職場環境を創造することで、ワークライフバランスの充実とウェルビーイングの実現を目指します。 	人権の尊重	・人権行動指針の浸透	・人権行動指針の周知（2024年4月～） グループ内に啓発ポスター掲示	●	P.41
		・人権デュー・ディリジェンスの実施	・調達先146社に対し人権リスク調査 実施リスク評価と改善指導中	●	P.41
	健康経営の推進 労働環境の向上	・ストレス者とその上長が相談できる専門窓口の新設・運用	・全国網羅型の産業医相談サービス「N-コンシェルジュ」を新設、運用スタート、周知	●	P.35
	計画的な人材育成	・自己啓発通信教育修了率80%以上 公的資格取得支援	・2026年3月末時点修了率：87% 公的資格取得者数：169名	●	P.25-26
		・選抜型語学研修の継続と昇級支援 （中国語講座5期生・6期生）	・HSK1級取得2名、2級取得1名 3級取得1名	●	P.25-26
		・各種研修計画の実施と研修満足度及び研修有効度4.0点以上確保 （5点満点）	・階層別12回：満足度4.1、有効度4.2 ・職種別14回：満足度4.4、有効度4.3 ・公募研修：満足度4.5、有効度4.1	●	P.25-26
		・幹部候補生研修の実施 （ネクストジェネレーション研修）	・管理職層対象6名履修 ・中堅層対象者4名履修	●	P.25-26
	ダイバーシティマネジメントの推進	・女性管理職比率10%以上 ・障がい者雇用率2.5%以上	・女性管理職比率：11.7%（2025年6月） ・障がい者雇用率：2.5%	●	P.54
健全で透明性の高いガバナンス体制の構築 すべてのステークホルダーとの健全な関わりを目的に、報告内容の正確性及び信頼性の確保を徹底し、透明性の高いガバナンス体制の構築を目指します。 	公正な取引の遵守コンプライアンスの徹底	・独占禁止法研修実施 （1回/年　全役員、幹部社員、関係会社役員）	・2025年9月12日実施 参加者55名（役員19名含む）	●	P.42,45
		・東リグループ行動憲章・行動規範の浸透	・全役職員による読み合わせ実施 日英中に加えスペイン語版追加	●	P.45
	情報開示の充実	・有価証券報告書の株主総会前開示	・2025年3月期有価証券報告書を株主総会の2営業日前に開示	●	
	健全なガバナンスの強化	・政策保有株式の合理性検証 2027年度、対純資産比目標 10%以内に向けて計画的に売却	・2026年2月度取締役会にて合理性の検証を審議 ・2026年3月末時点対純資産比：16.8%	×	P.27
		・取締役会の実効性に関する分析・評価の実施と改善（1回/年）	・2025年度分の分析（2026年2～3月） 結果の審議と開示（2026年6月）	●	P.48

〈お客様にとっての価値〉
インテリアを通じた心豊かな空間環境づくりの実現

〈社会/環境にとっての価値〉
地球環境保全への貢献と社会課題の解決

〈従業員にとっての価値〉
健康的な活躍と豊かなライフスタイルの実現

〈株主にとっての価値〉
持続的な企業価値の向上と安定的な還元